

# 野菜ってどこになるの？

子どもたちに「科学する心」が育まれるように、この園では、『身近な環境や自然に主体的に関わりながら、興味・関心を深め、自ら考え、試したり、工夫したりする体験』を大切に考え、環境構成や援助の工夫を重ねています。例えば、育てたい野菜、食べたい野菜をみんなで考え、例年取り組んでいる栽培活動では、前年度から、幼児の祖父母に「畑の先生」として支援いただく工夫をしています。栽培の様子を見て、適時、アドバイスをくださる「畑の先生」の栽培への熱意や温かな関わりにより、豊かな体験をした子どもたちに、祖父母への感謝や尊敬の気持ちが生まれ、「科学する心」が育まれることを願って取り組んでいます。

## 二本松市立小浜幼稚園

4・5歳児

### 活動の始まり

<5月上旬>

祖母2名を畑の先生として迎え、ジャガイモ植えと野菜の苗植えを行った。畑の先生は、「どうしてジャガイモを切るのか」「灰を付けるのか」など、子どもたちが分かるように説明し、子どもたちも「そうなんだ!」「虫に食べられたら大変だもんね」と真剣に話を聞き、取り組んでいた。植え終わると、「ジャガイモができたらフライドポテトが食べたいな」「カレーも!」などと収穫を楽しみにしていた。

### 場面 1. 「ジャガイモって葉っぱなの?」

<5月中旬~下旬>

<p>子どもの姿 <b>気づき・考えようとする姿</b> ⑤ = 5歳児 ④ = 4歳児</p> <p>毎朝、戸外遊びが始まる前に<b>野菜の世話をすることが習慣になっている</b>子どもたち。いつものようにジャガイモ畑へ水やりに行く。                  Bさん④:「お水いっぱいあげよう」                  Aさん⑤:「そうだね」                  Bさん④:「<b>ん?あれ、なんだろ?草?</b>」                  Aさん⑤:「<b>昨日なかったよね?</b>」                  Bさん④:「<b>なんだろう?ただの葉っぱ?</b>」                  保育者と話して、ジャガイモと気づく。                  Bさん④:「<b>えっ!ジャガイモって葉っぱなの!?</b>」                  Bさん④:「<b>みんなに教えなきゃ!</b>」                  「みんなー!ジャガイモ出てきたよ!」                  ぞくぞくと戸外へ出てくる子どもたち。                  Cさん⑤:「ほんとにー!?!」                  Dさん⑤:「<b>出てきてるー!</b>」                  Aさん⑤:「<b>やったね!</b>」</p>	<p>保育者の関わり・(思い)・<b>分析</b></p> <p>ジャガイモ畑に一つ芽が出始めた。(子どもたち、気がつくかな?)                  「大きくなるようにいっぱいお水をあげようね」<b>気づき、発見</b>                  (気がついた!でもジャガイモの芽だと思っていない。見たことがないのだな)                  「そうだね。なんだと思う?」  <b>驚き、思っていたことと違った発見</b>                  「ほんとだ。ジャガイモってどこにできるのかな?」                  (みんなに知らせたくなるよね)                  (ジャガイモの芽だと分かる子どももいる)</p> <p><b>芽が出てきた喜び</b></p>
<p>&lt;5月下旬&gt;                  Eさん⑤:「<b>ばあちゃん、ジャガイモの芽、出たんだよ!見て見て!</b>」                  祖母:「本当に!良かったね。見てみよう」                  Eさん⑤:「ほらね!」                  祖母:「本当だ!何個も出ているね。良かった良かった」</p>	<p>子どもから畑の先生に関わって、「芽が出た」と、発芽の状況や喜びを伝えている。  <b>芽が出た喜びを祖母に伝えたい</b>                  (おばあちゃんに教えてもらいながら植えたジャガイモだものね)</p>

### 保育カンファレンス [毎日、保育後に行っている]

A 保育者

ジャガイモの芽を見て、「ジャガイモって葉っぱなの?」という言葉には驚きました。お家でジャガイモを作っているけれど、ジャガイモができるまでの過程は見たことがないんですね。

ほとんどの家庭に畑があるけど、子どもたちが「手伝う」「見に行く」という直接体験はしていないのじゃないかな。これから、キュウリやミニトマトなども育てていければ、実がなり始めたら気づくかな?

B 保育者

※夏休み後、子どもたちと一緒にジャガイモ掘りを行うと、Bさんは、「**葉っぱの下にジャガイモできるんだ!!**」と目を丸くしていた。

場面 2. 「採りたかったんだもん」

<5月下旬～6月中旬>

子どもたちは、**思い思いに野菜の苗を持って植える。**  
 祖母：「優しく持ってね。茎が折れると大きくなれないからね」  
 Bさん④：「そーっと」と言い、優しく丁寧に苗をプランターの土の中に持っていく。  
 祖母：「上手。そしたら優しく土のお布団をかけようね」  
 Aさん⑤：「こう？」 祖母「そうだよ。上手い上手い」  
**祖母に褒められ、嬉しそうに微笑むAさん。**

「ゆっくりね。優しく、優しく」  
 (祖母とのやりとりも、自然になってきたな)  
 「上手に植えられたね！大きく育つといいね」と、共感する。  
**祖母に褒められた喜び**

Dさん⑤：「**ぼくはこの子のお父さん。いっぱいお水をあげよ！**」  
 Cさん⑤：「**この子はわたしの赤ちゃん。お水を飲みなさい**」と、**自分で植えた野菜を我が子と思って、毎日お世話をしている。**  
**ミニトマトに水やりをするBさん④：「あれ？これトマト？」**  
 Eさん⑤：「**ほんとだ！トマト！**」  
 Fさん④：「見せて見せて！」、Bさん④：「**何で緑なの？**」  
 Eさん⑤：「**最初は緑なんだよ！大きくなると赤くなるの！**」  
 Bさん④：「**そうなんだ！**」と、話をしている最中…  
 Fさん④が**ミニトマトの赤ちゃんを採ってしまうのをAさん⑤が見つけ**、「ミニトマトの赤ちゃん採っちゃった！」と言う。  
 Eさん⑤にも、「えー！何で！」と言われ、**黙り込むUさん。事の重大さに気づき始める。**  
 Eさん⑤：「赤くならないと食べられないって、教えたでしょ！」  
 Fさん④：「聞いてなかった…採りたかったんだもん」  
 Eさん⑤：「そのトマト食べられないよ。かわいそう」  
 Fさん④：「**ごめん。みんな、ごめん。トマトさん…ごめん**」  
 Aさん⑤：「**ミニトマトは赤くなってから採るんだよ。分かった？**」  
**Uさん④は、「うん。分かった」と友達に謝り、「ごめんね」という気持ちを込めて、葉っぱを一枚ずつ配って回った。**

子どもたちは、毎日、欠かさず水やりをする。ついに、ミニトマトがなり始めた。**愛着**  
 (野菜への愛着が出てきたな)  
 (自分たちでミニトマトに気づいた)  
**トマトを見つけた喜び 発見、疑問、驚き**  
 5歳児が4歳児Bさんに伝えている。  
 (赤くなったトマトしか見たことがないんだ)  
 (さすが年長さん！  
 去年の栽培の経験で分かるんだね)  
 5歳児も教えられた経験から、伝えられる。  
 「赤くなるのが楽しみだね」と、言い、寄り添う。



次の日、**Uさんは自分に言い聞かせるように、「トマトは赤くなってから」と言い、水やりをしていた。**

温かく見守る。

栽培の様子を「はたけだより」として保護者に配布した。「はたけだより」を読み、登降園時に畑の様子を見たり、家庭でも野菜の生長の様子が話題に上がったりしていた。畑の先生(祖父母)も、毎日畑の様子を見てくださる。

その後、Cさん⑤が、「**家のミニトマトが、黄色になったの。みんなに見せたいな**」と思って」と、家で採れたミニトマトを持って登園してきた。Cさん⑤：「**ほんとだ！赤くない！すごいね**」、Dさん⑤：「**うちにも黄色のミニトマトになっているよ**」と、**家庭の野菜の生長を知らせてくれたり、手伝いをしたりしているという話が聞かれるようになった。**



**[考察]** 子どもの小さな気づきから生まれる意欲は、「科学する心」の芽生えであり、心が動いた瞬間から始まっている。子どものどのような気づきが心をどのように揺さぶり、次の行動につながったのかを丁寧に見取ることで、「心揺さぶる経験を積み重ねる子どもたちの学びや育ちを捉える」ことができた。ジャガイモの芽を見つけた姿を見取って支えることで、その子どもにとって「気づいた」ことが「大発見」として友達や畑の先生に伝える姿に表われ、その後の栽培物との関わり方からも、変容や成長を見取ることにつながった。  
 また、保育の工夫である「畑の先生との関わり」は、**自分の気づきや喜びを伝えたり、5歳児が4歳児に丁寧に知識や情報を伝えたりする姿につながり、子ども自身が学びを意識する体験になった。**加えて、保護者へのお便り(「はたけだより」)は、お便りの記事に興味をもつ保護者の姿があり、園と保護者の相互の情報交換や交流の手段として有効であることが分かった。